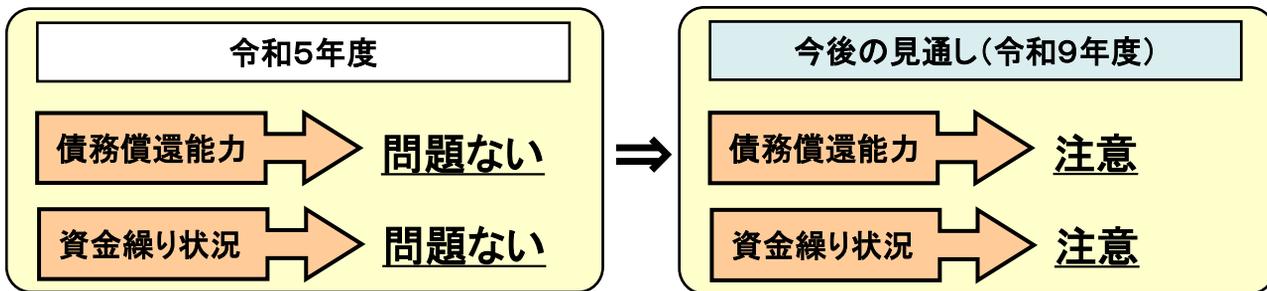


菰野町の財務状況把握結果(要旨)

(R7. 1. 21 財務省 東海財務局)

総合評価



財務指標

矢印の方向が今後の見通しの方向性を表しています

指標	① 実質債務月収倍率 ($\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$)	② 債務償還可能年数 ($\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$)	③ 行政経常収支率 ($\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$)	④ 積立金等月収倍率 ($\frac{\text{積立金等残高}}{\text{行政経常収入} \div 12}$)
問題なし	2.6月 ↓ 5.5月	2.1年	10.6%	6.0月 ↓ 3.5月
やや注意	18.0月	15.0年	10.0%	3.0月
注意	24.0月	20.9年	0.0%	1.0月

留意点

債務償還能力(①、②、③)

資金繰り状況(②、③、④)

貴町は、昭和32年に現在の菰野町となって以降継続して人口が増加していたことから、三重県内で最も人口が多い町となっており、個人町民税が安定的な収入源となっている。平成30年以降、人口減少局面を迎えているが、菰野ICの開設による交通アクセス向上を活用し、IC周辺の土地区画整理事業の促進や工業団地造成支援等による産業集積・定住促進に取り組んできたほか、令和2年からは菰野町MaaS「おでかけこもの」の運用を開始し、国土交通省等の事業採択を受けながら様々な実証実験を行うことで利用者の利便性向上や運行効率性の向上等による支出の削減等に取り組んできた。

一方、支出面においては、人件費や扶助費等が増加傾向にあるほか、清掃センター整備事業の大型事業に続き小中学校等の大規模改造工事や保育園園舎増改築事業等を計画的に進めてきたことから、令和2年度までは5期連続でプライマリー・バランスが赤字となっていた。

令和3年度以降、地方交付税等の増加等により収支は改善しており、公共施設の老朽化による改修等に備え公共施設整備基金等への積立てを計画的に行っているが、今後も人件費や物件費、扶助費等の経常的支出の増加や学校給食センター整備事業等の大型事業の実施に伴う収支の悪化や財政調整基金等の取崩しが見込まれることから、選択と集中による効率的で責任ある財政運営を行うことで、持続可能なまちづくりの実現に取り組まねたい。

財務指標の経年推移

※平均値は、いずれもR4年度

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	類似団体 平均値	全国 平均値	(参考) 三重県 平均値
①実質債務月収倍率	4.7月	5.0月	3.9月	3.6月	2.6月	4.9月	6.1月	5.8月
②債務償還可能年数	6.5年	8.8年	3.7年	3.8年	2.1年	3.7年	4.2年	4.4年
③行政経常収支率	6.0%	4.7%	8.7%	7.8%	10.6%	11.2%	13.9%	12.8%
④積立金等月収倍率	6.7月	5.9月	5.6月	5.9月	6.0月	6.1月	7.5月	8.1月